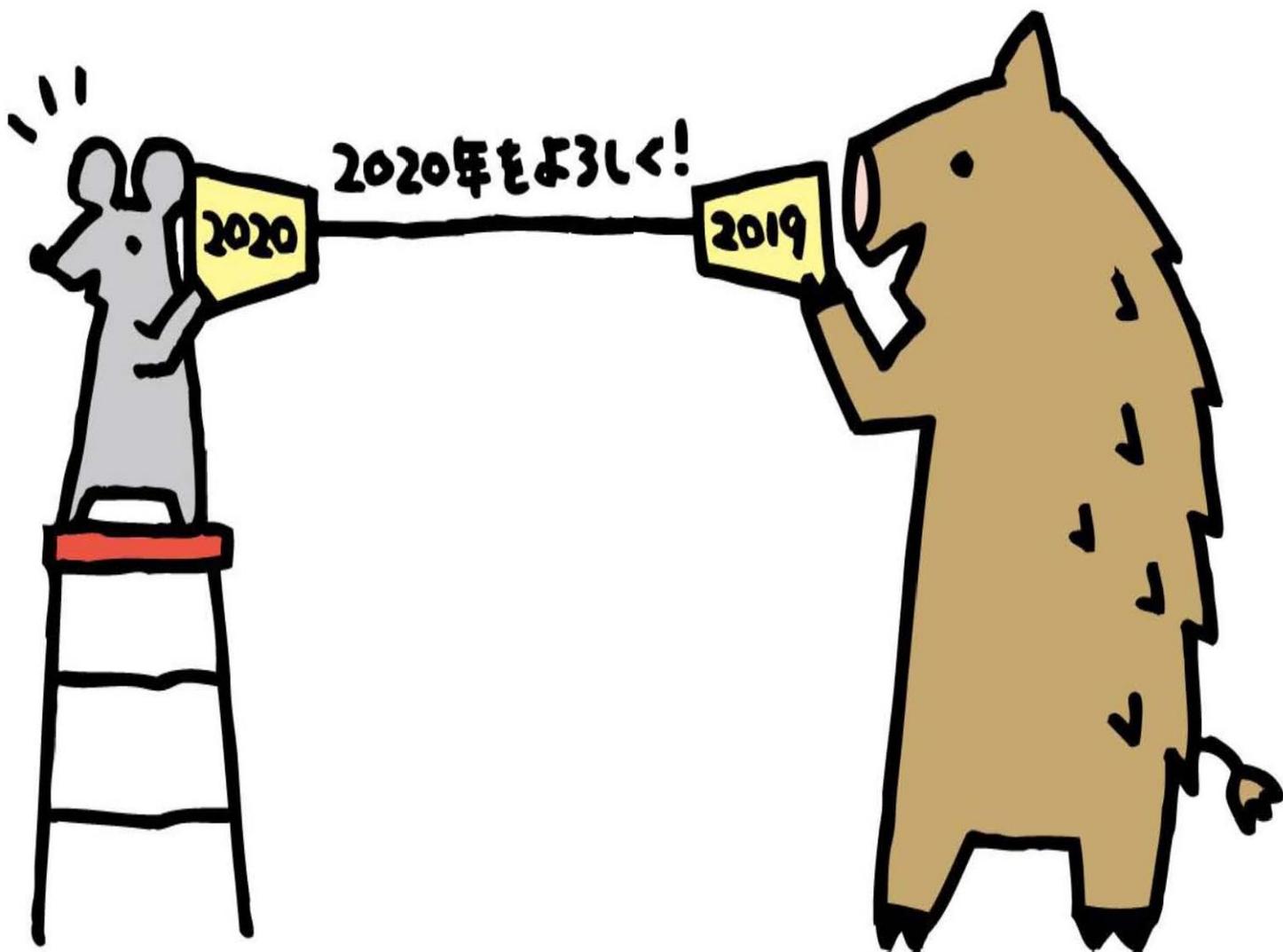


新年あけまして おめでとう

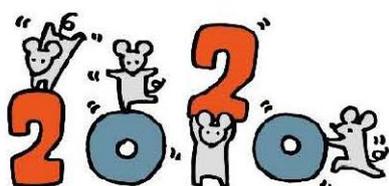


ございます！



次へ

次へ



新年あけまして

【発行】
周南市三丘徳修館
安田 562-2
Tel: 92-0177

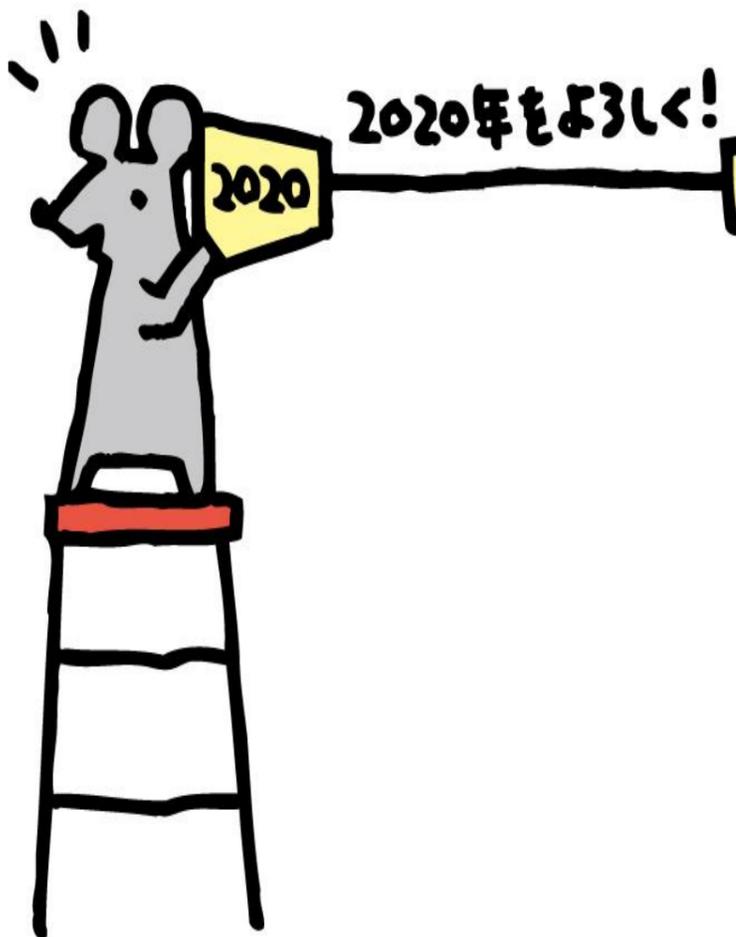
三丘徳修館だより & “ほっと三丘” コミュニティだより & 三丘地区校外育成協議会だより

第42号
配布
令和2年1月1日発行

おめでとう ございます!

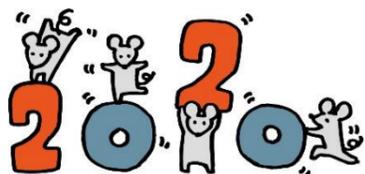


今年も宜しくお願いいたします 2019年の思い出



次へ ←

次へ →



三丘徳修館長から新年のご挨拶
謹んで新年のお喜びを申し上げます。旧年中は、いろいろお世話になり、三丘市民センター職員一同、心よりお礼申し上げます。
2020年も地域おこし・生涯学習の活動拠点として、地域の皆様に活用される三丘市民センターであり続けたいと思っておりますので今年も宜しく
お願いいたします。

館長 山本 真也



三丘伝統のまつり 笑顔あふれる一日！！

今年で26回目となる、歴史ある三丘徳修館まつりが11月16日(土)に開催されました！
 今回は諸都合により、土曜日での開催となりましたが、当日、雲一つない快晴だったこともあり、約700人以上のお客様にご来場いただきました！！人形浄瑠璃等の演芸をはじめ、美味しいパザールや展示、熊毛アフリカ音頭、自衛隊、芋ほり体験、屋外ステージでは安田夢太鼓やジャズバンド、肥後独楽名人、聖獣天神リュウガ等の豪華な顔ぶれが華を添えてくださり、大抽選会や餅まきも盛況に終わり、盛りだくさんな一日でした。さらに参加型イベントとして、新たに腕相撲大会を行い、子供たちや地域の皆さんの積極的な参加によってこちらも盛り上がり、地域が一体となってまつりを盛り上げようとする光景は、実行委員会として、とてもうれしく思いました。最後に、三丘地域の伝統あるお祭りとして、これからも続いていくことを心より願っております。また、ご来場くださったお客様、並びにご協力くださった地域の方々・中高生ボランティアの皆さんについて心より感謝申し上げます。そしてお疲れ様でした！

また来年もお待ちしております！！



1月18日(土) 黒岩峡清掃活動を行います。(9:00~より)

1月18日(土)、三丘地区校外育成協議会と“ほっと三丘”コミュニティ協議会の共催で、黒岩峡清掃活動を行います。黒岩峡は四季を通じて、市内外から多くのお客さんが訪れる美しい景勝地ですが、不法投棄や「平成30年7月豪雨」によるダメージも残っていることから、このような清掃活動を通じて、環境美化に努める必要性がより高まっております。ぜひ、清掃活動に参加してみませんか？ご参加をお待ちしております。※清掃後、併せて資源回収活動を行います。ぜひご協力ください(詳細は別紙回覧の通り)



「三丘の将来」インタビュー (全5回)

昨今、少子高齢化、AI技術の発展、自然災害の多発等、日本全体がめまぐるしい変化に見舞われており、三丘地域も例外ではなく、将来において取り組むべき問題がたくさんあります。

第38号から、全5回に分けて、各団体の長等に、お一人ずつ「三丘の将来」について、5つの質問のもと、思いを語っていただきます。

第4回目は **三丘地区校外育成協議会 会長 石光 英隆 さん**です。



Q1. 三丘地域の好きな所や強みを教えてください。

好きなところは、歴史の薫り高いところを、誇りに思い、守り伝えているところですね。

そして、強みは、三丘の良さを育てようという郷土愛あふれるしっかりしたリーダーがおられることですね。先般、三丘地区校外育成協議会 前会長の田村 哲夫さんについて、青少年の健全育成や地域活動推進のために40年を超える献身的な行動が評価され、一般社団法人 日本善行会より“善行賞”として全国表彰を受けられました。こんな素晴らしいリーダーのもとで活動できることを本当に嬉しく思っています。

Q2. 三丘地域の現在抱えている問題はどのようなものがあると思いますか？

少子高齢化で地域全体のパワーが落ちなければいいが…、と思います。

だから、すばらしい三丘の発掘をどんどんしていく、若い力を伸ばしていくことでしょうか。現にその芽が膨らんでいるように思えます。

Q3. 「平成30年7月豪雨」から丸一年が経ちますが、現在の心境は？

今年も各地ですごい豪雨災害が発生していますね。地球人としてこれからの世代に、美しい自然に包まれ、安全な環境を残さなければいけないとつくづく思いますね。

Q4. 今後の展望や目標を教えてください

少子高齢化はある意味チャンスの到来かな、子どもたちには三丘全体が一自治会のようなものですね。三丘の人と誰とでも、あいさつだけでなく気軽に近況が話し合える、そんな三丘を造ってほしいですね。

Q5. 未来を担う次世代へ伝えたいことは？

和気あいあい「ほっと三丘」コミュニティーのさらなる発展を期待しています。